



えびな文化財探求舎講演会

仏像をテーマに講演します。

日 11月23日(月) 13時15分～16時10分
場 市役所401会議室 市内在住の方 50人
講 「観音さまのひみつー仏像の世界へのいざないー」/山本 勉氏(清泉女子大学名誉教授)・「相模川流域のみほとけたち」/神野祐太氏(県立歴史博物館学芸員) 無料 10月1日(休)から、往復はがきに、受講希望者全員の氏名・ふりがな・住所・電話番号を記入し、〒243-0422中新田377えびなこどもセンター 海老名市教育委員会 教育総務課文化財係へ。10月30日(金)締め切り。応募多数の場合は抽選。市ホームページからも可



現地見学会

NPO法人海老名ガイド協会会員が随時解説します。観音堂では百観音などを拝観できます。直接会場へ。

日 11月8日(日) 10時～12時の随時(荒天中止) 場 龍峰寺(国分北2-13-40) 無料 駐車場は限りがあります。徒歩または公共交通機関をご利用ください。海老名駅より徒歩20分、神奈中バス相武台前駅行き「弥生神社前」下車またはコミバス国分ルート「国分第一児童公園」下車徒歩5分

千手観音菩薩立像(龍峰寺/国分北)▶

国指定重要文化財。カヤ材とみられる一木造り、像高195cm。21組の手のうち1組を頭上で組む特徴は「清水寺式千手観音」と呼ばれる。京都府の清水寺に安置される観音像と同一の木で作られたという伝説も。



▲十一面観音菩薩坐像(正覚寺/門沢橋) 市指定重要文化財。像内に胎内仏が納められている
千手観音菩薩立像▶(真光寺/本郷) 市内唯一の石造りの千手観音



市内の観音さまを紹介

「観音さま」は救いを求める者の心に応じて姿が変わるとされる仏の一つです。全国に見られ、

市内にも如意輪観音や十一面観音などのさまざまな観音菩薩像があります。写真パネルを中心に市内14の寺院などの観音さまを紹介します。



龍峰寺千手観音のひみつ

龍峰寺千手観音菩薩立像のご開帳は元日と3月17日の年2回。拝観できるのは収蔵庫内に安置された正面の姿です。企画展では「頭上の仏さま」「42本の手と持ち物」「背面の衣文」など、知られざるその姿の詳細をパネルで解説します。

えびなの観音さま

温故館企画展

国の重要文化財である龍峰寺の千手観音菩薩立像が10月10日(土)から県立歴史博物館の特別展に展示されます(7頁)。関連して温故館では、初の仏像をテーマにした企画展を開催します。市内の「観音さま」を写真パネルなどで紹介します。

期 10月1日(木)～12月6日(日)
場 海老名市温故館 観音菩薩像写真・解説パネル・観音絵馬など関連資料の展示 無料 市教育委員会 特別協力 県立歴史博物館
館内放送解説
毎週(水・日) 10時30分から、館内放送で展示解説します。

問 教育総務課 ☎(235)4925



海老名市温故館

所在地 国分南1-6-36 ☎(233)4028
開館時間 9時～17時15分
(入館は16時30分まで)

千手観音、12月までお出掛け中

龍峰寺の千手観音が、県立歴史博物館に向かったのは8月上旬。お出掛けをするのは平成20年の奈良国立博物館での展示以来です。留守中に龍峰寺の収蔵庫に防震台座が設置されます。

1 手に持つ物や光背を外します



2 手足・顔と全体を緩衝材で保護します



3 それぞれ箱に納めて、トラックで運搬します



4 県立歴史博物館に到着



県立歴史博物館特別展 「相模川流域のみほとけ」

龍峰寺千手観音菩薩立像をはじめ、国分寺不動明王坐像など、相模川流域の資料75件が展示されます。

期 10月10日(土)～11月29日(日)
(月)除く/11月23日(月)(祝)
は開館 時 9時～17時(入館は16時30分まで) 場 県立歴史博物館 横浜市中区南仲通5-60
費 一般900円/20歳未満・学生600円/65歳以上200円/高校生100円/中学生以下無料、団体料金あり 温故館企画展のスタンプを押印した台紙の提示で、団体料金で入場可